

## 2016年3月期第1四半期決算発表に関する主なご質問

2015.8.3

Q.中間期業績見通しに比べて、第1四半期の進捗率は低いのでは？

A.第1四半期は建築用フロート窯の定期修繕による一時的コストの発生により、進捗率が低くなっておりますが、この一時的コストは計画に織り込んでいるものです。

Q.第1四半期の業績は、計画と比べてどうでしたか？

A.高機能ガラス事業の業績は計画比未達となりましたが、燃料コストの低下や好調な事業・地域の業績により相殺し、事業全体での下振れはわずかに留まりました。

Q.原燃材料コストの今後の動向は？

A.第1四半期での原燃材料コスト低減は前年比10億となりました。今後もこの傾向は続くと考えており、計画比では上振れ要因です。

Q.高機能ガラス事業の減益要因は何ですか？第2四半期には回復しますか？

A.第1四半期に、ディスプレイ用薄板ガラスの生産において品質問題が発生し、コスト増加となりました。また、売上面でも価格下落と品質問題による受注減から影響がありました。すでに品質問題はほぼ解決しており、第2四半期ではコスト面が改善していきます。また売上数量も回復基調にあります。

Q.西欧地域での新車販売台数の増加に対し、当社欧州地域での自動車用ガラスの売上は大きな増加が見られませんが、特別な要因はありますか？

A.販売台数ではなく、当社ガラス採用車種の欧州での生産台数に沿った動きであり、特別な要因はありません。

Q.第2四半期以降に向けて、増益要因は何ですか？

A.高機能ガラス事業での回復、第1四半期に発生した建築用フロート窯の定期修繕による一時的コスト増の解消、建築用ガラスの価格改善(欧州・日本・北米)、ソーラー用ガラスの売上増加、全地域での更なるコスト改善などを見込んでおり、四半期ごとに業績は改善していくと見込んでおります。よって、中間期および通期の業績見通しに変更はありません。

以上。